



前11時頃から84名が会場に集まり、楽しそうな会話が聞かれました。会食に先立ち、セレモニーがあり、鈴木征夫支部長、山口伸樹市長の挨拶を頂きました。市長は、県議・市議選の投票率のアップを訴えました。出来立て

のけんちゃんそば・うどんが運ばれてきました。熱々の美味しいそば・うどんに舌鼓を打ちながら頂きました。会食のあと、笠間警察署からの「オレオレ詐欺」防止と交通安全の注意を聴きました。私たちの近くでも、不幸な事故、詐欺事件が起こっています。アトラクションは、ちんどん夢乃家（小松崎美恵子さん）の二人チンドンでした。口八丁、手八丁の熱演に拍手喝さいでした。連れの横倉一男さんは、サクソフォンの演奏で盛り上げてくれ、「夜霧の忍びあい」に聴き入りました。岡田屋の縁起の良い開運どら焼きとみかんのお土産付きで、元気を頂いた一日でした。

しあわせサロン会食会に招待されて南 秀利
しあわせサロンの開運どら焼き・みかんのお土産までいただいて楽しい一日がありました。

けんちゃんそば・うどんに舌鼓 ちんどん夢乃家に うっとり

しあわせサロンの会食会



発行者
笠間市社協中央支部
編集
中央支部広報委員会
印刷
(有)シーエス

笠間市社会福祉協議会中央支部の恒例の「しあわせサロンそば打ち」会食会が、12月1日に社会福祉会館で開催されました。支部役員（区長）・民生委員・女性部・むつみ会・ボランティアの皆さん70人余りが、前日から準備され、当日は早朝からそば打ち・そば切り・ゆで・けんちゃん汁作りに精を出されました。そばは桜川市真壁の常陸秋そばの石臼挽きを16キロ購入し、つなぎの小麦粉5キロ、打ち粉4キロを混ぜて150人分のけんちゃんそば・うどんを作りました。そば打ちの指導は菅谷豊・正子ご夫妻で、10年以上も続けておられます。会食会に招待される方は、70歳以上の独り住まいの方、80歳以上の高齢者で、毎年この日を楽しみにしています。午



女性部親善交流会

塩田 信子

11月21日晴れた日、いわき市石炭化石館を中央支部女性研修に参加しました。子供が小さい時に行ったきりだったので、何十年かぶりでの見学でした。なつかしく風景もいくぶんちがっていたので化石もこんなのがあったのかしらとびっくり、皆でおしゃべりしながら見てまわりました。

石炭を掘る所、家族団らん、昔はみんなこんなだったと懐かしく思い、見てまわりました。



笠間市社協中央支部女性部親善交流会（いわき市石炭・化石館視察）



笠間市社協中央支部女性部親善交流会（いわき市石炭・化石館視察）

昼食もおいしくいただき、海の風にもあたり、ほっこりとした懐かしい気持ちになりました。七年前の地震津波のパネルをみてあらためて大変だったと思い、心の中で手をあわせ部屋をあとにしました。皆さんおみやげを買いバスにゆられて帰途につきました。役員の皆様、事務局の方、運転手さん、一日お世話様になり有りがとうございました。

コラム

中央支部の皆様には、支部の運営に何かとご理解ご協力を賜りありがとうございます。

平成30年度の支部の事業も滞りなく進捗いたしましたので、ここで今年度の事業についていくつか振り返ってみます。

先ず会費の件であります。平成30年度より会費規定が一部変更になり、一般会員は一口1,000円から一口1,000円以上に改正されました。

今年度は、最初の年でありましたので、会員の皆様には十分に説明が

一年をふり返って

支部長 鈴木 征夫

行き届かなかったと反省しています。結果、昨年の実績より若干少ない募金額となりました。31年度はご理解をいただき、今年度より多く募金できるよう期待いたしております。次に敬老会の件です。会場を友部小学校体育館から地域交流センター友部に移して二年目、冷房等の設備が整い、快適な環境の中で敬老会が行われていますので出席者も多くなっています。

毎年、アトラクションを何にするかが問題の一つです。今年度は、口笛世界一の加藤万里奈

よく見かけるためきの置物は「八相縁起」といわれる八つのご利益があるといわれている。

他に三つのご利益（〇印）を含む、十一の縁起つまり『金運万倍大明神』即ち「十一相縁起」があるという。

その十一相とは次のようなご利益です。

一 大きな笠

災難から身を守る。

二 大きな目

気配りと正しい判断。

三 満面の笑み

笑門には福来たる。

四 二重結び

重ね重ねの成就。



五 大きなお腹

度量の大きさを表す。

六 大きな尻尾

終わりはしっかりと。

七 金袋

大きな金運の象徴。

八 瓢箪が六つ

無病息災を願う。

九 フクロウ

福が来る。幸せの象徴。

十 だるま

満願成就の両目入り。

十一 両手上げ招き猫

金運と人を招く。

今年度は平成から新しい元号に変わる節目のタイミング。読まれた方には、もしかしたら良運がやってくるかも…。

あとがき

寒い冬を越え、花の便りが届く季節になりました。

皆様のご協力により、女性部親善交流会、そば打ち会食会が行われました。「中央支部だより」114号として、お届けいたします。お手に取って頂ければ幸いです。

三月は、空気が乾燥し、風が強く花粉が飛び交います。テレビのニュースでは、「はしか」に注意との事です。体調には十分お気を付けて、お過ごし下さい。

（谷中）



加藤万里奈さんの口笛演奏

さんと、落語の万葉亭小太郎さん、そしてアコーディオン漫謡の岩田百郎さんをお願いすることができ豪華な演出となりました。

三人三様素晴らしい芸でありましたが、中でも口笛は初めての経験でもあり、素晴らしい感動をいただきました。閉会後、私のもとに、「小鳥の鳴いているような」すばらしい響きだった、との声が寄せられました。次年度も感動を与えてくれるような出し物を期待して下さい。